

県内の景気動向

停滞感が漂う県内景況

小売業はさらに厳しい結果

2002.2月調査

- 調査時点 2月末時点
- 回収期間 平成15年3月1日～15日
- 本調査の対象企業は県内の中小企業1,000社
- 今回調査の有効回答企業数は491社
- 回答企業の業種別内訳
製造業208社・建設業51社・卸売業75社・小売業91社・サービス業66社

DI (Diffusion Index) とは景気の動きをとらえるための指標であり、DI値は良化と回答した企業の割合から悪化と回答した企業の割合を減じた数値である

全業種

■ 対前年同月比

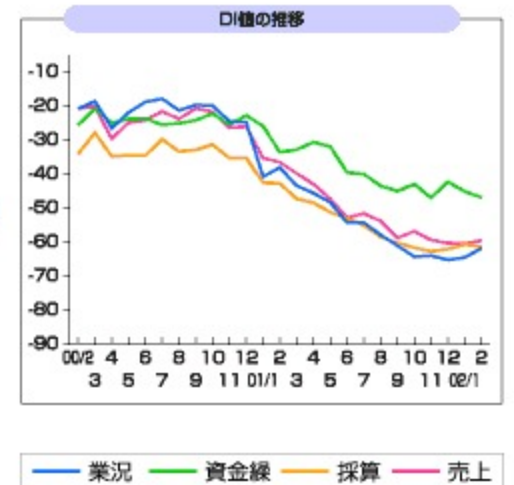
前年同月と比較して、売上が良化したと回答した企業が7.3%、悪化したと回答したのが66.8%、DI値は-59.5であった。同じく、採算は良化3.9%・悪化65.2%・DI値-61.3、資金繰りは良化2.7%・悪化49.5%・DI値-46.8であった。

これらを総合した業況は、良化と回答した企業が5.1%、悪化と回答したのが66.8%、DI値は-61.7であった。

業況及び採算のDI値は、昨年9月末時点から6か月連続で-60を下回り、引き続き足踏み状況が続いていると言える。しかし、業況DI値はわずかながら2か月連続で改善を示し、今後の動向に注目したい。連続して改善を示したのは、平成12年5月～7月以来である。

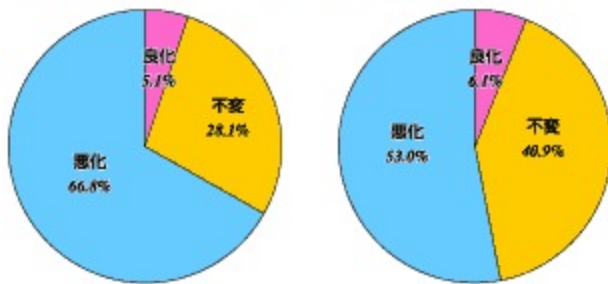
■ 3か月先見通し

2月末時点からみた3か月先の見通しは、業況が良化すると回答した企業が6.1%、悪化すると回答したのが53.0%で、DI値は-46.8を示した。5割を超える企業がさらに悪化するものと予想している。



業況			売上			採算			資金繰り		
1月末	2月末	先行き	1月	2月末	先行き	1月末	2月末	先行き	1月末	2月末	先行き
-64.5	-61.7	-46.8	-60.4	-59.5	-46.0	-60.6	-61.3	-49.1	-45.1	-46.8	-40.8

業況の対前年同月比 (2月末) 業況の3か月先見通し



製造業

■ 対前年同月比

業況DIは-60.6 (良化5.8、悪化66.4)、採算DIは-62.0 (良化4.3、悪化66.4) と、ともに昨年8月末から7か月連続で-60を下回る厳しい結果となっている。しかし、業況はわずかながら3か月連続で改善しており、今後の動向に注目したい。

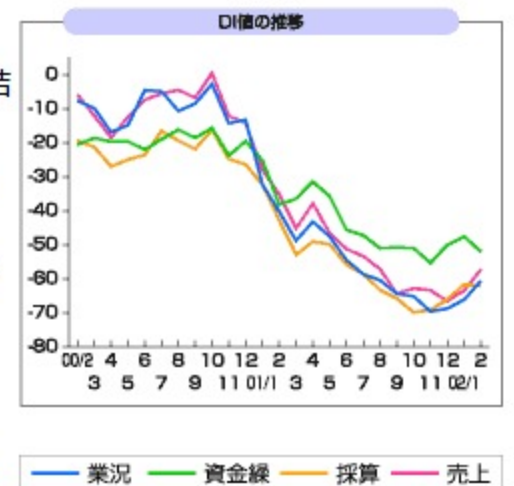
小分類で見ると、「食料品」「織物」「ニット」「縫製」「印刷」「鉄鋼・非鉄」「金属」「輸送用機器」「精密機器」「漆器」の10業種は、業況で良化と回答した企業が1社もなかった。特に「印刷」(-81.8)、「輸送用機器」(-80.0)は-80以下と、厳しい結果となった。

一方で、「電気機器」は、前月まで3か月連続で良化と回答した企業はゼロであったが、わずかながら良化したと回答する企業が出てきており、今後の業況回復に期待したい。

■ 3か月先見通し

1月末時点からみた3か月先の見通しは、業況・売上・採算・資金繰りともに、前年同月比のDI値と比較して改善を示し、先行きに対する期待感が表れていると感じられる。しかし、業況で良化すると回答した企業は7.2%である一方、悪化すると回答したのが44.2%と、5割近い企業がさらに悪化すると予想している。

小分類で見ると、「電気機器」「精密機器」は、業況・売上・採算の改善、「鉄鋼・非鉄」は売上・採算の改善を見通す企業が増加している。一方、「窯業・土石」は業況・採算、「酒造」は売上・採算・資金繰り、「織物」は売上・資金繰りがさらに悪化するとみている。



業況			売上			採算			資金繰り		
1月末	2月末	先行き	1月末	2月末	先行き	1月末	2月末	先行き	1月末	2月末	先行き
-66.1	-60.6	-37.0	-63.4	-57.2	-37.5	-61.5	-62.0	-42.3	-47.5	-51.9	-38.0

業況の対前年同月比 (2月末) 業況の3か月先見通し

